

| | | | | | | | |
|--------|---|--------|------------------------------------|--------|-------|--------|-------|
| 学 年 | 4 年 | 時 間 | 短学活「家具の配置と固定の工夫」 「部屋の中はだいじょうぶ？」 | 時 期 | 1 0 月 | 時 数 | 1 5 分 |
| 目 標 | 「寝る部屋」と「食事をする部屋」の家具・照明器具などの配置や固定を工夫することにより、地震時の家具の転倒・落下やそれに伴う人命危険を減らせることを知る。 | | | | | | |
| 資料・準備 | 総務省消防庁「チャレンジ防災48」の映像25「家の中の揺れの様子」、小○シール、ワークシート「家ぐはいち書きこみシート」「書き込み例」（事前に宿題で書かせておく） | | | | | | |

展開

| | 学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・) | 指導上の留意点 支援(○) 評価(☆) |
|-------------|---|---|
| 導 入 | 1 地震が起きたときの室内の危険映像を見る。 ◇地震が起きたときの「家の中の様子」を見ましょう。 | ○「チャレンジ防災48」の映像25の中の「地震で揺れる家の中のようす」（リビング、寝室、キッチン）の映像を見せる。 |
| 展 開 | 2 「自分が寝る部屋」と「食事をする部屋」の家具を書き込んだワークシートを見ながら、地震が起きたときのことを想像する。 ◇自分の寝る部屋と食事をする部屋の家具の様子を書き込んできたワークシートを見て考えてみましょう。 | ○事前に宿題で書いてきた書き込み用ワークシートを見ながら考えさせる。特に、自分が寝ている部屋の家具と自分が寝ている様子や食事をする部屋の家具と食事している様子をもう一度確認させてから考えさせたい。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ねる部屋と食事をする部屋のきけんを見つけよう </div> <p>◇寝る部屋で寝ているときに地震に遭った場合、食事をする部屋で食事中に地ないもの(ところ)にシールをはって、その場所と理震に遭った場合、どのような危険があるか、あぶ由を書き出しましょう。</p> | ○教師は、一人一人の様子を見て、それぞれに支援する。 ☆自分の寝る部屋と食事する部屋の家具の様子からきけんな所を見つけることができたか。 |
| | 3 どうすれば自分の身を守れるか考える。 ◇家具の配置を替えると、どのように自分の身を守れるか、また、どのように家具を固定すればいいか考え、ペアで話しあってみましょう。 ◇気がついたことを発表しましょう。 | ○家具の倒れる向きを考えさせるなど、寝ている自分や食事している家族に家具が倒れてこないよう考えさせる。 ○臨席の児童等とペアで話しあわせ、気がついたことを発表するよう促す。 ☆家具が地震の揺れで倒れる状況等を想像し、自分や家族の身を守る家具の配置と固定について考えることができたか。 |
| ま と め | 4 今日の学習を振り返り、自分にできることを考え発表する。 ◇自分や家族の身を守るための家具の配置について、自分にできることや家の人と一緒にできることについて考えたことを発表しましょう。 | ○自分自身にできること、家族と一緒にできることについて考えを発表させ、みんなで共有し、意欲を高めさせる。 ○書き込んだワークシートと「家具の配置・固定の工夫」の資料を持ち帰らせ、家庭で考えてもらう材料とする。 ☆地震の被害を減らすために自分にできることを具体的に考えている。 |

| | |
|----------------|--|
| 関連する 教科・領域等 | |
| 協力団体 | |